

一步一步前進 No. 2

四万十市立蕨岡中学校通信「さわらび」

平成28年4月8日（金）

文責：山脇



前列左から＝林先生、智春さん、世奈さん、山下先生

後列左から＝壮平くん、大翔くん、幸輝くん、将大くん、寛人くん



前列左から＝大原先生、彩姫さん、琴弓さん、池上先生

後列左から＝土居先生、智也くん、郡くん、寛大くん

入学おめでとう

4月7日（木）10：00から、平成28年度の入学式が2階多目的室で行われました。新入生の保護者の方々と、来賓としてわらたけノビノビ会会長の谷口統様、学校運営協議会会長の景平育様、同委員の岡村祐一様、PTA会長の福本政弘様に参加していただきました。

1年生3名は、拍手の中、緊張した面持ちで入場すると、真剣なまなざしで、話を聞いていました。

そして、歓迎の言葉を、生徒会長の下山智也が述べ、新入生代表で外田さくらさんが堂々と誓いの言葉を述べてくれました。



入学式式辞

桜の花に、心浮き立つ季節もまもなく過ぎ去り、みずみずしい新緑の季節が訪れようとしています。今日は、ご来賓の皆様、そして新入生の保護者の皆様方にご出席をいただき、平成28年度の入学式を開催できますことを心より感謝申し上げます。

そして、今年度の新入生、さくらさん、聖仁（せいと）君、亮嘉（りょうが）君の3名の皆さん、蕨岡中学校へのご入学、本当におめでとうございます。また、中学校の制服に身を包んだ、今日の晴れ姿を心待ちにされていた保護者の皆様、改めましておめでとうございます。

本日、蕨岡中学校に入学された皆さん、この春は、小学校とお別れし、新たに蕨岡中学校の先輩方や先生たちとの出会いが始まります。小学校に比べ、中学校の3年間は思った以上に早く過ぎ去っていきます。3年後に、蕨岡中学校へ来て本当に良かったねと言い合えるように、みんなで力を合わせて支えあってほしいと願っています。また、先生たちも、皆さんの夢の実現のために一緒になって精一杯頑張っていきます。

さて、本日、皆さんの入学にあたって、毎年恒例の「一步一步前進」という言葉を贈りたいと思います。

4月1日の高知新聞小社会で、「楠学問」「梅の木学問」という言葉が紹介されていました。内容を少し紹介すると、「楠」は成長はゆっくりでも着実に大木になる。「梅の木」は成長は早いけれど大木にはならないそうです。現代社会は「成果」「即戦力」を求め、早く成果の出る「梅の木学問」を求める時代のように見えますが、日本社会の将来を考えると果たしてどうなのか、本当に必要なのは、ゆっくりした成長でも大木となる「楠学問」こそがいま求められていることではないかと述べていました。まさに、皆さんは、もし、今できないことがあったり、周りより劣っていると感じていることがあっても、あせらず、ゆっくりと「一步一步前進」して「楠」のような大木となり、この蕨岡を、四万十市を、高知県を、そして日本を支えるような人になってもらいたいと思います。

私自信が「一步一步前進」という言葉を座右の銘としましたのは、現在、巨人軍終身名誉監督で当時巨人軍監督の長嶋茂雄さんから若い頃いただいたサイン色紙に「一步一步前進」という言葉が書かれていたからです。

私が、プロ野球史上最高の選手だったと確信している長嶋さんの座右の銘が「一步一步前進」だなんて意外な気がしましたが、よく考えると、これが真実なのかもしれません。

長嶋選手は、高校時代は無名の選手でした。甲子園にも出ていません。スーパースターにかけあがるまでには、だれにも負けにくい努力と、苦しさがあったとも聞いています。まさに、「一步一步前進」してきたのだと思いました。その日以来、私自身の座右の銘も「一步一步前進」になりました。そして、本校の学校通信『さわらび』の副題も「一步一步前進」にしています。

長嶋さんは、数年前、脳梗塞で倒れ、半身不随になり、言葉も十分に話せなくなりました。あれだけのスターでしたから、言葉も体も十分でない状態でテレビや人前に出ることはないのではないかと思っていましたが、彼は、自分がこの苦しさをリハビリを重ねて、復活していく姿を見てもらうことで、同じ苦しみを持つ人たち

に勇気を与えたいと常にテレビにも出続けました。そして、当初は補助の人がいないと歩けず、何を話しているかもよくわからない状態でしたが、今は、障害は残っているものの、以前の長嶋さんとあまり変わらない状態になってきています。この復活の過程のすごさは、同じ苦しみを持つ人以外にも、大きな勇気を与えているのではないかと思います。まさに彼の生き様こそが「楠学問」の真髄ではないかとも思います。

たった1日では分からない伸びでも、1年間、2年間、3年間という長い期間で見ると、びっくりする位の成長となります。先生も生徒も保護者も一緒になって「一歩一歩前進」していきましょう。

さて、新入生の皆さんのこれからはじまる中学校での生活には、楽しいことがいっぱいあると思います。しかし、勉強や部活動には苦しいとき、つらい時も多くあるかもしれません。

しかし、つらい時、苦しい時に、一生懸命取り組み、額に汗を光らせ、涙も流していくことで、心身ともに逞しくなっていくのです。苦しんだ分だけ、あとには感動も得られるはずです。

何事においても、焦らず、ゆっくりと「一歩一歩前進」していくことで、自分自身を大きく育てていってください。懸命に努力している姿は、だれもが認める美しく頼もしい姿なのです。

最後に、保護者の皆様方には、中学校に入学し、何かと心配事も増えてくるかと思えます。私たち教職員は、資質・指導力の向上を目指し、常に子供たちとつながり、保護者の皆さん方と信頼関係を構築していくことを大切にしていきたいと思っています。

子育て、教育は学校だけでは、なし得ることはできません。保護者や地域の方々との協力し合い、同じ方向をめざし、一体となって取り組んでこそ理想の子供像、人間像に近づけることができると思っています。

今日から大切なお子様をお預かりし、愛情を持ってかかわっていくことを強くお約束し、入学式にあたっての式辞といたします。

平成28年4月7日 四万十市立藤岡中学校校長 山脇克仁

自己紹介

3年目となりました校長の山脇克仁です。

出身は旧十和村（現四万十町）で、現在は四万十市丸の内に住んでいます。

昭和35年生まれで55歳で、子どもは男ばかり3人おりますが、現在は全員家を出て生活しており、妻とセキセイインコ（3歳：名前はアオちゃん）、2人+1羽で暮らしています。

趣味はスポーツ観戦と読書で、スポーツは野球・相撲を中心に相当に熱い観戦者です。今年はリオ五輪があり、地球の裏側での五輪で競技時間が夜中になりそうなので、夏の睡眠不足を今から心配しています。

読書は、一昨年度は今野敏さん、葉室麟さんにはまり、昨年度は池永陽さん、内田百閒さんにはまっていました。一番好きな作家は沢木耕太郎さんです。

まだまだ未熟な校長で、至らぬことも多々あるかもしれませんが教職員一丸となって、保護者、地域の方々とも連携しながら、16人の子どもたちに愛情を持って関わっていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

参観日・PTA総会のご案内

別途ご案内はしておりますが、4月10日（日）は、第1回目の参観日、PTA総会となっております。多くの保護者の皆様方のご参加をお願いします。

なお、昨年度は土曜授業として実施しましたが、年度当初で生徒の疲れ等のことも考慮し、今年度は通常の授業日とし、翌日の11日（月）を振替休日とします。

8日（金）から給食がスタートしますが、10日（日）は弁当が必要ですのでよろしくお願いいたします。

〈日程〉

1. 日時 4月10日（土）13:30
（生徒は朝から授業があります）

2. 日程

参観授業 13:30～14:20（各教室）

| | 1年生 | 2年生 | 3年生 |
|-----|-----|-----|-----|
| 教科 | 英語 | 国語 | 社会 |
| 指導者 | 森原 | 林 | 大原 |

終学活 14:20～14:30

PTA総会 14:35～15:35（多目的）

学級懇談会 15:45～16:05

部活動保護者会

16:15～

・ソフト部（多目的室）

・バレー部（被服室）

3. その他 ・駐車場は、学校横の駐車場と体育館裏をご利用ください。

お誕生日おめでとう（4月）

1年生（13歳になります）

外田 さくらさん 4月6日

2年生（14歳になります）

山本 智春さん 4月22日

先生 大原 慎一先生 4月11日

※全教職員・生徒のトップを切ってさくらさんが6日に誕生日を迎えました。6日は語呂合わせで、「新聞を46（よむ）日」だそうです。智春さんの22日も語呂合わせで「422（良い夫婦）の日」だそうです。



チューリップと共に